

## 教育資格及び教育内容等の自己評価書様式

### 【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数							非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数			
リハビリテーション学部 理学療法学科	4人	4人	0人	7人	15人	8人	13人	138人	8.00人	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
計	4人	4人	0人	7人	15人	8人	13人	138人	-	

### 【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

### 【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
<input type="radio"/>	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
<input type="radio"/>	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
<input type="radio"/>	上記以外である。	1

### 【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
<input checked="" type="radio"/>	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
<input type="radio"/>	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	/	佐藤春彦	(専任)
		基礎ゼミ	/	池添冬芽	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	/	中野治郎	(専任)
		基礎ゼミ	/	福元喜啓	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	/	浅井剛	(専任)
		基礎ゼミ	/	宮本俊朗	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	/	森公彦	(専任)
		基礎ゼミ	/	脇田正徳	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	/	田頭悟志	(専任)
		基礎ゼミ	/	福島卓矢	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	/	山縣桃子	(専任)
		基礎ゼミ	/	梅原潤	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	/	中尾彩佳	(専任)
		基礎ゼミ	/	山本菜摘	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	物理	8	楠本邦子	(兼任)
		物理	7	栗川知己	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	統計学	15	北脇知己	(兼任)
		統計学	15	川浦孝之	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	情報処理技術	8	北脇知己	(兼任)
		情報処理技術	8	川浦孝之	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	研究方法論	2	浅井剛	(専任)
		研究方法論	1	三木恵美	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	研究方法論	5	甲田勝康	(兼任)
		生物	15	宮崎裕明	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	化学	15	牧田佳真	(兼任)
		認知科学	8	吉村匡史	(専任)
基礎	人間と生活	心理学	15	西垣悦代	(兼任)
		心理学	15	藤村あきほ	(兼任)
基礎	人間と生活	倫理学	15	酒詰悠太	(兼任)
		健康科学	1	木村穰	(兼任)
基礎	人間と生活	健康科学	14	黒瀬聖司	(兼任)
		健康科学	6	田頭悟志	(専任)
基礎	人間と生活	教育学	15	朝日素明	(兼任)
		医療経済学	15	西川浩平	(兼任)

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
基礎	人間と生活	哲学	15	酒詰悠太	(兼任)
		社会学	15	野々村元希	(兼任)
基礎	社会の理解	基礎英語	15	小坂裕美	(兼任)
		コミュニケーション論	8	長岡千賀	(兼任)
基礎	社会の理解	医学英語	15	小坂裕美	(兼任)
		グローバル コミュニケーション	15	青木幸子	(兼任)
基礎	社会の理解	中国語	15	劉秋燕	(兼任)
		韓国語	15	李鎮榮	(兼任)
基礎	社会の理解	フランス語	15	MoulinBerenger	(兼任)
		-	-	-	-
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅰ	6	北田容章	(兼任)
		解剖学Ⅰ	8	長谷公隆	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅰ	4	飯田寛和	(専任)
		解剖学Ⅰ	2	豊田長興	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅰ	2	細野光治	(兼任)
		解剖学Ⅰ	2	齊藤朋人	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅰ	2	矢西正明	(兼任)
		解剖学Ⅰ	2	桑内慎太郎	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅰ	2	山木壮	(兼任)
		解剖学Ⅱ	11	飯田寛和	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅱ	4	前澤仁志	(専任)
		生理学Ⅰ	1	中村加枝	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅰ	2	藤岡龍哉	(兼任)
		生理学Ⅰ	2	武藤恵	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅰ	5	上田康雅	(兼任)
		生理学Ⅰ	2	福田尚代	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅰ	2	田口周	(兼任)
		生理学Ⅰ	1	倉岡康治	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅱ	2	人見浩史	(兼任)
		生理学Ⅱ	2	六車恵子	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅱ	2	長谷公隆	(兼任)
		生理学Ⅱ	3	服部文幸	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅱ	2	上田康雅	(兼任)
		生理学Ⅱ	2	武藤恵	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅱ	2	林美樹夫	(兼任)
		生理学実習	/	吉村匡史	(専任)

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの運動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学実習	/	田頭悟志	(専任)
		生理学実習	/	福島卓矢	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学実習	/	田口周	(兼任)
		生理学実習	/	黒瀬聖司	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅰ	15	佐藤春彦	(専任)
		運動学Ⅱ	14	佐藤春彦	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅱ	1	浅井剛	(専任)
		運動学実習	/	佐藤春彦	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	/	浅井剛	(専任)
		運動学実習	/	中山淳	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	/	山縣桃子	(専任)
		運動学実習	/	梅原潤	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	/	蓬來谷耕士	(専任)
		人間発達学	15	加藤寿宏	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	臨床心理学	8	吉村匡史	(専任)
		-	-	-	-
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	2	蔦幸治	(兼任)
		病理学	1	酒井康裕	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1	大江知里	(兼任)
		病理学	2	松浦徹	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1	野田百合	(兼任)
		病理学	1	佐藤智佳	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	画像診断解析学	1	谷川昇	(兼任)
		画像診断解析学	1	飯田寛和	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	画像診断解析学	1	宇都宮啓太	(兼任)
		画像診断解析学	1	狩谷秀治	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	画像診断解析学	1	本多修	(兼任)
		画像診断解析学	1	黒川弘晶	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	画像診断解析学	1	香西雅介	(兼任)
		画像診断解析学	1	河野由美子	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	2	伊藤量基	(兼任)
		内科学Ⅰ	1	倉田宝保	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1	石浦嘉久	(兼任)
		内科学Ⅰ	1	宮下修行	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1	清水俊樹	(兼任)
		内科学Ⅰ	1	吉岡弘鎮	(兼任)

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1	延山誠一	(兼任)
		内科学Ⅰ	1	尾崎吉郎	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1	孫瑛洙	(兼任)
		内科学Ⅰ	1	尾形誠	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1	西澤徹	(兼任)
		内科学Ⅰ	1	玉置岳史	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	2	吉村英晃	(兼任)
		内科学Ⅱ	1	塩島一朗	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	1	豊田長興	(兼任)
		内科学Ⅱ	1	宮坂陽子	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	1	竹花一哉	(兼任)
		内科学Ⅱ	1	藤井健一	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	1	浮田千津子	(兼任)
		内科学Ⅱ	2	今田崇裕	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	4	吉田勝紀	(兼任)
		内科学Ⅱ	1	富山尚	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	1	野村恵巳子	(兼任)
		内科学Ⅱ	1	高橋一久	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅰ	1	長谷公隆	(兼任)
		整形外科Ⅰ	8	飯田寛和	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅰ	3	菅俊光	(兼任)
		整形外科Ⅰ	1	片岡浩之	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅰ	1	ゲストスピーカー	(兼任)
		整形外科Ⅰ	1	栗山 新一	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅱ	1	齋藤貴徳	(兼任)
		整形外科Ⅱ	1	堀井恵美子	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅱ	1	浜田佳孝	(兼任)
		整形外科Ⅱ	1	真賢一	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅱ	1	足立崇	(兼任)
		整形外科Ⅱ	2	中村知寿	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅱ	1	山口拓嗣	(兼任)
		整形外科Ⅱ	1	大野博史	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅱ	2	片岡浩之	(兼任)
		整形外科Ⅱ	1	石原昌幸	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科Ⅱ	1	谷陽一	(兼任)
		整形外科Ⅱ	2	矢倉拓磨	(兼任)

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅰ	5	長谷公隆	(兼任)
		臨床神経学Ⅰ	2	菅俊光	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅰ	1	近藤誉之	(兼任)
		臨床神経学Ⅰ	1	金子鋭	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅰ	2	中村正孝	(兼任)
		臨床神経学Ⅰ	1	飯田慎	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅰ	1	峠理絵	(兼任)
		臨床神経学Ⅰ	1	森勢諭	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅰ	1	井谷公美	(兼任)
		臨床神経学Ⅱ	2	吉村晋一	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅱ	3	羽柴哲夫	(兼任)
		臨床神経学Ⅱ	2	國枝武伸	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅱ	2	武田純一	(兼任)
		臨床神経学Ⅱ	1	亀井孝昌	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅱ	1	宮田真友子	(兼任)
		臨床神経学Ⅱ	/	ゲストスピーカー (関西医科大学附属病院 ST)	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅱ	/	ゲストスピーカー (関西医科大学附属病院 ST)	(兼任)
		臨床神経学Ⅱ	/	種村留美	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	2	加藤寿宏	(専任)
		小児科学	2	佐藤春彦	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	1	山内壮作	(兼任)
		小児科学	1	松島佳苗	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	1	松野良介	(兼任)
		小児科学	1	石崎優子	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	1	赤川翔平	(兼任)
		小児科学	1	長谷公隆	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	1	田辺裕子	(兼任)
		小児科学	1	藤井喜充	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	1	藤代定志	(兼任)
		小児科学	1	飯田寛和	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	1	峰研治	(兼任)
		精神医学	15	吉村匡史	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	3	甲田勝康	(兼任)
		公衆衛生学	2	神田靖士	(兼任)

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	2	下埜敬紀	(兼任)
		公衆衛生学	8	村上由希	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	老年医学	8	吉村匡史	(専任)
		臨床薬学	2	吉村匡史	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床薬学	1	武内孝太郎	(兼任)
		臨床薬学	1	河合謹也	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床薬学	1	野瀬彩登美	(兼任)
		臨床薬学	1	谷口真也	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床薬学	1	大谷ひとみ	(兼任)
		臨床薬学	1	平井希俊	(兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1	飯田寛和	(専任)
		リハビリテーション概論	2	長谷公隆	(兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1	ゲストスピーカー (附属病院リハビリテーションセンター, 理学療法士),	(兼任)
		リハビリテーション概論	2	池添冬芽	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	2	種村留美	(兼任)
		医療専門職総論	/	飯田寛和	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	池添冬芽	(専任)
		医療専門職総論	/	佐藤春彦	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	中野治郎	(専任)
		医療専門職総論	/	浅井剛	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	福元喜啓	(専任)
		医療専門職総論	/	前澤仁志	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	宮本俊朗	(専任)
		医療専門職総論	/	田頭悟志	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	中尾彩佳	(専任)
		医療専門職総論	/	福島卓矢	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	森公彦	(専任)
		医療専門職総論	/	山縣桃子	(専任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	脇田正徳	(専任)
		医療専門職総論	/	ゲストスピーカー (関西医科大学学長)	(兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療専門職総論	/	ゲストスピーカー (関西医科大学理事長)	(兼任)
		医療専門職総論	/	ゲストスピーカー (他大学研究者)	(兼任)

## 【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	3	長谷公隆	(兼任)
		リハビリテーション医学	1	菅俊光	(兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	2	田口周	(兼任)
		リハビリテーション医学	2	小倉久幸	(兼任)
専門	基礎理学療法	理学療法概論	8	池添冬芽	(専任)
		作業療法概論	1	加藤寿宏	(専任)
専門	基礎理学療法	作業療法概論	3	三木恵美	(専任)
		作業療法概論	1	松島佳苗	(専任)
専門	基礎理学療法	作業療法概論	1	中山淳	(専任)
		作業療法概論	1	林良太	(専任)
専門	基礎理学療法	作業療法概論	1	砂川耕作	(専任)
		作業療法概論	7	種村留美	(兼任)
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	/	池添冬芽	(専任)
		臨床見学実習(理学)	/	佐藤春彦	(専任)
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	/	中野治郎	(専任)
		臨床見学実習(理学)	/	浅井剛	(専任)
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	/	宮本俊朗	(専任)
		臨床見学実習(理学)	/	福元喜啓	(専任)
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	/	田頭悟志	(専任)
		臨床見学実習(理学)	/	脇田正徳	(専任)
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	/	森公彦	(専任)
		臨床見学実習(理学)	/	福島卓矢	(専任)
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	/	山縣桃子	(専任)
		臨床見学実習(理学)	/	梅原潤	(専任)
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	/	中尾彩佳	(専任)
		-	-	-	-
専門	理学療法評価学	理学療法評価学	10	中野治郎	(専任)
		理学療法評価学	5	福元喜啓	(専任)
専門	理学療法評価学	理学療法評価学演習Ⅰ	/	中野治郎	(専任)
		理学療法評価学演習Ⅰ	/	福元喜啓	(専任)
専門	理学療法評価学	理学療法評価学演習Ⅰ	/	中尾彩佳	(専任)
		理学療法評価学演習Ⅰ	/	森公彦	(専任)
専門	理学療法評価学	理学療法評価学演習Ⅰ	/	脇田正徳	(専任)
	理学療法治療学	運動療法学	15	宮本俊朗	(専任)
専門	理学療法治療学	物理療法学	8	中野治郎	(専任)
		物理療法学演習	/	中野治郎	(専任)



【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門	理学療法治療学	物理療法学演習	/	宮本俊朗	(専任)
		物理療法学演習	/	福島卓矢	(専任)
専門	理学療法治療学	日常生活活動学	3	松島佳苗	(専任)
		日常生活活動学	6	池添冬芽	(専任)
専門	理学療法治療学	日常生活活動学	6	中山淳	(専任)
		日常生活活動学演習	/	池添冬芽	(専任)
専門	理学療法治療学	日常生活活動学演習	/	田頭悟志	(専任)
		日常生活活動学演習	/	脇田正徳	(専任)
専門	理学療法治療学	運動器理学療法学	12	福元喜啓	(専任)
		運動器理学療法学	3	太田恵	(兼任)
専門	理学療法治療学	神経理学療法学	14	野添匡史	(兼任)
		神経理学療法学	3	森公彦	(専任)
専門	理学療法治療学	神経理学療法学	6	脇田正徳	(専任)
		呼吸循環代謝理学療法学	15	宮本俊朗	(専任)
専門	理学療法治療学	義肢装具学	3	池添冬芽	(専任)
		義肢装具学	1	浅井剛	(専任)
専門	理学療法治療学	義肢装具学	3	蓬來谷耕士	(専任)
		義肢装具学	1	ゲストスピーカー (義肢装具士)	(兼任)
専門	理学療法治療学	小児理学療法学	/	佐藤春彦	(専任)
		小児理学療法学	/	中川佑美	(兼任)
専門	理学療法治療学	小児理学療法学	/	前田将吾	(兼任)
		リハビリテーション工学	/	浅井剛	(専任)
専門	理学療法治療学	リハビリテーション工学	/	ゲストスピーカー (ATR研究員)	(兼任)
		リハビリテーション工学	/	ゲストスピーカー (義肢装具士)	(兼任)
専門	理学療法治療学	リハビリテーション工学	1	長谷公隆	(兼任)
		リハビリテーション工学	2	中山淳	(専任)

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
医療機関（関連病院）でのリハビリテーションの見学	1年（通年）	リハビリテーション概論	1年前期
		理学療法概論	1年前期
		基礎ゼミ	1年前期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検評価委員会
委員名（委員長）	池添冬芽（リハビリテーション学部自己点検評価委員会委員長）
組織の開催頻度	1年に1～3回
組織の取り組み内容	本学独自の内部質保証推進組織によって下記の自己点検・評価とともに改善に努め、恒常的・継続的に教育・研究の質の保証及び向上に取り組んでいる。
	・ 教育水準の向上に向けた活動
	・ 教員の研究水準向上に向けた活動
	・ 管理運営改善に向けた活動
自己点検・評価結果の公表	H P で公表（URL： <a href="https://www.kmu.ac.jp/faculty/for/index.html">https://www.kmu.ac.jp/faculty/for/index.html</a> ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称 教務委員会
	委員構成等 教務部長（委員長）、教務副委員長、各学科選出委員、事務部学務課
	改善の仕組みの実際 教務委員会（毎月開催）において、3つのポリシーと科目配置等を審議し、科目配置や科目の内容が適切であるかを確認の上、シラバス内容を検討している。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください

本学における自己点検評価委員会は委員会自らが進める独自自己点検・評価だけでなく、教育研究推進委員会が進める内部質保証活動についての二次評価も行うという内部質保証推進システムが構築されており、PDCAサイクルを適切に機能させることによって質の向上をはかっている。